



札幌建設管理部

事業一覧および事業箇所図は札幌建設管理部の社会資本整備に関する
アカウントビリティのページにて公表します。（6月公表予定）
<https://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/skk/a0008/b0001/>



こちらのQRコード
からアクセスできます。

札幌建設管理部の概要



その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

《概要》

札幌建設管理部管内は、石狩、空知地域の札幌市を含む32の市町村で構成され、全道人口の約半分を占めています。このような行政区域を受けもつなかで、地域の経済を支え、安全・安心なまちづくりを目指し、道路、河川、砂防などの整備を進めています。

まず、近年の異常気象などによる水害や土砂災害の対策について、ハードとソフトが一体となった取組を進めており、ハード対策としては、札幌市を流下する望月寒川において令和4年度に運用を開始した放水路トンネルと合わせ河川整備を進めているほか、平成24年に大きな浸水被害が発生した岩見沢市内を流下する利根別川において河川整備などを進めています。ソフト対策としては、洪水浸水想定区域図の公表や土砂災害警戒区域等の指定といった災害リスク情報の提供や既存ダム の利水容量を有効に活用する事前放流の取組を関係機関と連携し進めています。

また、これまで整備してきた施設については、長寿命化計画に基づく施設の点検や補修、更新を行っています。橋梁の長寿命化の取組としては、昭和33年に供用を開始した増毛稲田線の妹背牛橋（橋長580m）や昭和34年に架け替えた恵庭栗山線の馬追橋（橋長311m）などの老朽化した長大橋の架け替えを進めているとともに、予防保全を目指しています。河川管理施設においても、長寿命化計画に基づき発寒古川救急内水機場や旧中の川排水機場の補修、樋門・樋管の補修・更新を実施しています。

そのほか、美唄富良野線では、通行不能区間を解消し、南空知地域と上川南部地域の短絡ルートを形成し、農産物流の効率化支援や観光アクセス向上を目的とした整備を進めており、きたひろしま総合運動公園線では、令和5年3月に開業した北海道ボールパークFビレッジにあわせ、周辺幹線道路の交通渋滞緩和のため、延長約2.8kmのアクセス道路の整備を進めてきました。

札幌建設管理部では、道民の安全・安心や社会経済活動を支えるため、引き続き良質な社会資本の整備を着実に進めてまいります。

きたひろしま総合運動公園線 道路新設整備事業

札幌建設管理部
道路事業

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

一般道きたひろしま総合運動公園線は、都市公園である「北海道ボールパークFビレッジ」北側の市道共栄南1号線を起点とし、国道36号に至る延長約7kmの幹線道路です。道では、「北海道ボールパークFビレッジ」周辺の幹線道路において、ボールパーク開業に伴い、更なる交通渋滞が見込まれることから、周辺の幹線道路の安全で円滑な交通を確保するため、当該公園へのアクセス道路の新設整備を行うものです。

《事業概要》

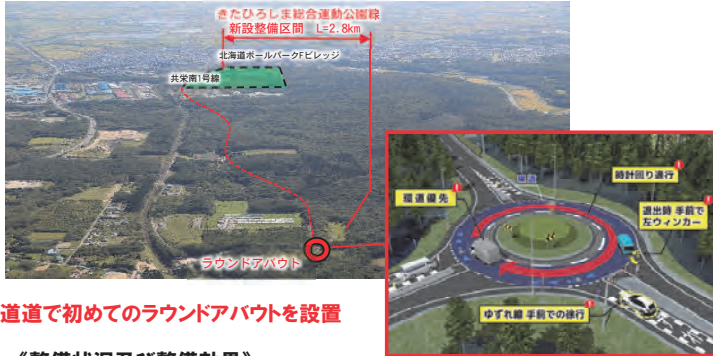
事業延長 : L=2.8km
事業期間 : 令和2年度～令和5年度(予定)
全体事業費 : 約72億円
事業内容 : 道路工



《位置図》



《整備前全景写真》



道路で初めてのラウンドアバウトを設置

《整備状況及び整備効果》



- ★整備効果★
- ・周辺道路の安全で円滑な道路交通を確保

増毛稲田線(妹背牛橋) 橋梁架替事業

札幌建設管理部
道路事業

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.

主要道道増毛稲田線は、増毛町の国道231号と深川市音江町稲田の国道12号を結ぶ延長54.4kmの幹線道路です。石狩川に架かる現橋は長年の河床低下により洗掘をうけ、橋梁の安定性が低下しています。また、架設から63年経過しており、床版、支承にも老朽化が進行し、早急な架替が必要となりました。また、現橋は幅員が狭小であり、大型車のすれ違いが困難な状況です。これらの課題を解消し、安全・安心な通行を確保するため、妹背牛橋の架替を実施するものです。

《事業概要》

事業延長 : N=1橋
事業期間 : 平成26年度～令和9年度(予定)
全体事業費 : 約106億円
事業内容 : 橋梁工

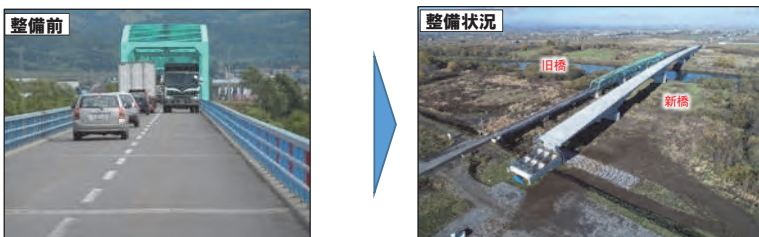
《老朽化進行状況》



《位置図》



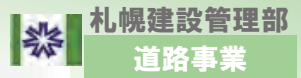
《整備状況及び整備効果》



- ★整備効果★
- ・老朽化橋梁を架替し、安全・安心な通行を確保

恵庭栗山線（馬追橋） 橋梁架替事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

主要道道恵庭栗山線は、恵庭市と栗山町を結ぶほか、当該路線を經由し、国道337号などと連携し、札幌圏へアクセスする物流・生活基盤等を支える役割を担う重要な路線です。現橋は供用から62年間使用されており、床版などの老朽化が進行し、さらに洗掘により橋梁の安定性が低下しておりました。また、現橋は幅員が狭小であり、大型車のすれ違いが困難な状況となっていました。これらの課題を解消し、安全・安心な通行を確保するため、馬追橋の架替を実施しています。

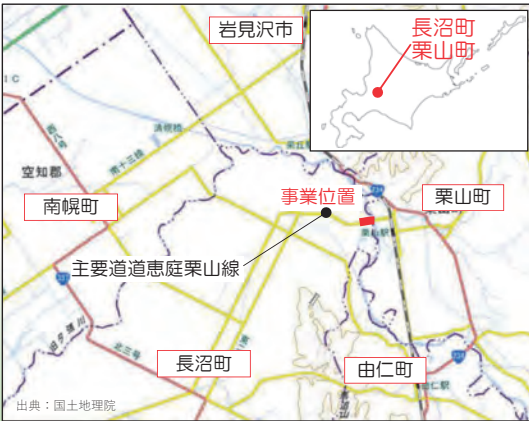
《事業概要》

事業延長 : N=1橋
 事業期間 : 平成28年度～令和8年度（予定）
 全体事業費 : 約50億円
 事業内容 : 橋梁工

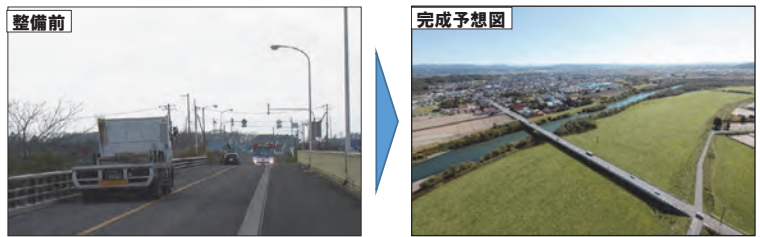
《老朽化進行状況》



《位置図》



《整備状況及び整備効果》



★整備効果★
 ・老朽化橋梁を架替し、安全・安心な通行を確保

もつきさむがわ 望月寒川 河川改修事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

札幌市街地を流れる望月寒川は、都市化による流出増等により、平成12年、平成14年に浸水被害が発生したことから、平成16年に河川改修事業がはじまりました。川沿いに住宅等が立ち並ぶため、可能な範囲で川幅を広げるとともに、上流部に設ける放水路トンネルにより洪水を豊平川に分流させることで、下流の市街地への洪水負担を軽減します。平成26年に着工した放水路トンネルは、令和4年4月から供用が始まり、引き続き河道整備を行います。

《位置図》



《事業概要》

事業延長 : L=9.7km（うち放水路 L=2.0km）
 事業期間 : 平成16年度～令和15年度（予定）
 全体事業費 : 約248億円
 事業内容 : 掘削工、護岸工、河川トンネルなど

《整備効果》



とねべつがわ 利根別川 河川改修事業

その先の、道へ。北海道

札幌建設管理部
河川事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

平成24年9月9日から12日にかけての大雨により、岩見沢市内で浸水被害が発生しました。利根別川は河川改修事業を進めていましたが、改修完了区間や支川において多大な被害が発生したため、計画を見直して、計画する洪水量の増大と支川を含めた改修事業に着手しています。支川南利根別川は令和3年に完成。引き続き利根別川・東利根別川、ポントネ川の河川整備を行います。

《位置図・事業概要等》



事業延長 利根別川外 L=23.6km
 利根別川 L=16.0km、南利根別川 L= 1.4km
 東利根別川 L= 3.0km、ポントネ川 L= 3.2km
 事業期間 昭和42年度～令和15年度（予定）
 全体事業費 約320億円
 事業内容 築堤工、掘削工、護岸工、遊水地（ポントネ川）など

《整備状況と効果》

2012.9月洪水を踏まえた整備を行っています



整備完了区間



2021年整備完了



2012年9月の浸水状況

南利根別川



南利根別川の治水安全度が上がり、約730戸の浸水被害が解消しました。



オキリカッブ支流川 大規模特定砂防事業

その先の、道へ。北海道

札幌建設管理部
砂防事業

Hokkaido. Expanding Horizons.

オキリカッブ支流川は平均溪床勾配が1/11と急勾配であるため、融雪出水等により溪岸浸食や洪水氾濫がたびたび発生しています。事業の実施により、土石流等の土砂災害から、避難所、避難路(国道12号)、人家(22戸)、耕地(43ha)、公共施設等を保全します。

《位置図・事業概要等》



事業期間 平成23年度～令和7年度（予定）
 全体事業費 約26億円
 事業内容 溪流保全工2.3km、床固工

《整備状況》



整備前



整備後

《整備効果》

出典：国土地理院



《保全対象》



避難所(コミュニティセンター)

保全対象人家

避難所、避難路(国道12号)、人家22戸、耕地43ha、公共施設等土砂災害から保全